



会長 加藤 功
幹事 富樫 松夫

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

超私の奉仕

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

第2317回 例会会報 平成18年6月6日(火) 晴(本年度 第41回)

会長報告

加藤 功

ロータリー・クラブの発足において、資本主義市場社会で起きている様々な問題に対処するには、奉仕の精神が重要であります。資本主義市場経済社会は、経済学者によって数多く語られますが、今回はアダム・スミスを取り上げてみます。

彼の著書は、大学の講義録を基礎にした『国富論』(1776年刊)で、「何をどれだけ」、「いかにして」、「誰のために」生産するかという経済問題をすべて同時に解決するには、自由な市場の「見えざる手」に導かれて自分が全く意図しなかったような目的(私益・公益)を促進することになると言っています。資本主義市場経済社会という近代の社会の真実の姿を初めて啓示しました。「良いことをしようなどと思うな。善が私欲の副産物としておのずから出てくるようにせよ」、ということです。私利と競争の相互作用が財の自由な取引を通じて一見して無秩序経済制度のようであっても価格が市場調整機能を果たし、しかも社会の生産力の増進に資するという蓄積法則が貫徹していることを意味しています。

これを奉仕の精神に擬えれば、「良いことをしようなどと思うな。善が奉仕の副産物としておのずから出てくるようにせよ」と言えないだろうか。ロータリーの標語「超私の奉仕」と並んで重視されている「最善の奉仕者は最善の利得者(幸福者)」を、私はそのように自然に受け入れ、謙虚にしかもアグレッシブ(挑戦的)に活動したいと思った次第であります。

また、経済発展の要因として資本蓄積、技術そして分業を挙げている。資本蓄積は消費を節約して貯蓄してそれを投資に向けることによって得られる資本ストック。技術は発明・発見などによる新しい財の創出、分業は、「大規模生産の利益」が得られることを指摘しています。

資本主義市場経済社会は、現在は大企業中心の市

場経済社会段階に大きく変質しており、さらに「市場の失敗」といって価格が市場調整機能を必ずしも果たさないという現象が多く見られるようになった。財政や金融活動が極めて重視されています。

さて、6月3・4日、「金峰少年自然の家」において第14回RYLA研修会が開かれ、鶴岡RCからは、7人出席しました。塚原会員は、演題『水を育む森の働き』で講演を行っています。これまでの講演は、精神訓話が多かったかと思いますが、今回はRIの重要事項に基づいた水環境と人間との関わりを取り上げて、林学者としての専門職業人の立場から話されました。青少年にその分野の認識を深めさせたと同時に大きな感銘を与えたと思います。

次年度クラブ活動方針

会長エレクト 丸山 隆志



I、報告

PETS (H18. 4. 1・酒田 ル・ボットフー) 及び地区協議会 (H18. 5.13・酒田市公益研修センター) の報告

(1) 2006～07年度RI会長：

ウィリアム(ビル)・ボイド氏
(ニュージーランド、オークランド市)

(2) 2006～07年度RIテーマ：

率先しよう(Lead The Way)

(3) RI会長強調事項

- ・識字率向上 ・水保全
- ・保健と飢餓 ・ロータリー家族

(4) 2800地区の活動方針

○地区目標：「地域に根差した真心の奉仕」

ロータリーに入って良かったと言えるロータリー
私もロータリーに入りたいと思うロータリー

○具体的目標と方策

●クラブ基盤の確立

A) 退会防止～会員増強～クラブ拡大



みんなで止めよう温暖化

アイドリングストップ!!

- B) ロータリーファミリーの充実
- C) 地域の皆さんとの係わりと交流促進

- CLP (クラブ・リーダーシップ・プラン) 取組の研究目的⇒効果的なクラブ管理の枠組みを提供することで、クラブのレベルでロータリーの強化を図る。

- A) 会員基盤を維持、拡大する。
- B) 効果のある奉仕プロジェクトを実施する。
- C) ロータリー財団を支援する。
- D) クラブ・レベルを超えた指導者を育成する。

- 若い世代への貢献の為のプログラムを充実
 - A) 青少年交換プログラムの発展
 - B) 財団奨学生への期待とその活用
 - C) GSE 受け入れ体制への対応 (全ブロックでの歓迎)
 - D) IAC・RAC・RYLA への支援
 - E) 米山奨学生への支援

- クラブの棚卸し
 - A) 身の丈に合ったクラブ運営
 - B) 中期、長期のクラブ目標の設定

(5) 2006～07 年度数値目標

○会員増強 退会者：0名、純増：1名

○ロータリー財団への貢献

100 \$ / 一人年間 (Every Rotarian Every Year)

○米山奨学会への貢献 15,000 円 / 1 人年間

II、2006～07 年度

鶴岡ロータリークラブ活動計画について

- (1) 次年度は、周年行事及び姉妹・友好クラブとの続盟行事も無くクラブを見詰め直す (クラブの棚卸し) 年度にしたいと思います。

- CLP (クラブ・リーダーシップ・プラン) 検討委員会の設置。

(案) 委員 藤川享胤、丸山隆志、真島吉也、樋渡美智子、秦 幸助、本間昭吉

- クラブ細則の見直し

- 50 周年に向けての中期目標の設定
記念事業の拠出金の積立

会員増強 :50 周年までに会員を 55 名にしたい

- (2) RI テーマ：(ロータリー活動を) 率先しよう。
強調事項：識字率向上・水保全・保健と飢餓・ロータリー家族ですが、クラブでの具体的な活動が、思いつきません。皆さんの知恵を貸して下さい。

- (3) 常任委員会理事は、各特定委員会を把握し効果的な委員会活動になるよう情報交換を。

- (4) 鶴岡ロータリークラブの特長は、新世代、国際奉仕、職業奉仕等の活動が効果的に行われていると思います。これらを継承して行きたい。

- (5) 具体的な実践活動 (クラブ協議会等で報告)

第12回理事会報告

1. 協議

- (1) 予算決算について 「孟宗汁家族例会 (5/23)」

収入 (親睦委員会補助含む) 計 199,000 円

支出 甚内旅館 (宿泊費も含む) 199,000 円

- (2) 最終例会 6/27 PM6:30～

- (3) 台中港区扶輪社これからの友好クラブとしての対処について：続盟式並びに周年行事等

- (4) 内川清掃について 7/2 (日) 開催予定

- (5) 会長・幹事への記念品について

2. 報告

- (1) 新入会員推薦

(株)ミヤマエンジニアリング 渡辺英一氏

委員会報告

●出席委員会

委員長 阿蘇司朗

本日の出席		前々回の出席	
会員数	46人	出席率	43.18%
出席数	28人	修正出席数	28人
出席率	65.12%	確定出席率	65.12%

●メイクアップされた方

阿部信矢君・榎本政規君・藤川享胤君
秦 幸助君・本間 厚君・本間喜美子君
本間昭吉君・加藤 功君・樋渡美智子君
丸山隆志君・嶺岸禮三君・真島吉也君
越智茂昭君・斎藤 昭君・佐藤孝子君
富樫松夫君

●親睦委員会

委員長 上野欣一

6月誕生：高橋良士君

配偶者誕生：佐藤恒夫さん・桜井博子さん

斎藤 和さん・佐々木十代子さん

加藤美和さん・丸山あけみさん

スマイル

塚原初男君 先日のライラでのスピーチ、会長、越智さんより過分なお言葉を寄せて頂き恐縮です。初めてのパワーポイントで不慣れなため、分かりにくいところがあったと思いますので、今後慣れていきたいと思っております。

佐藤孝子君 ○ライラ研修の協力のお礼○ゴルフ同好会設立コンペ 6/28 (水) よろしく。

富樫松夫君 ○台中港区 RC への 35 周年行事に参加し打ち上げ会の残金を参加者の総意でスマイル致します。○昨年末から貸事務所を建築中でしたが、5月20日竣工式祝賀会をすることが出来ました。工事に携わった関係者に感謝！